

# 逆襲へいざ！今季2度目の3連勝狙う！

## 名門校と古河決戦

第16節・流通経済大学戦ではセツトプレーから2点を奪い、後期は初の完封勝ち。波に乗っているとはまでは言えないが、天皇杯から落とししていた調子はここにきてようやく上向ってきているようだ。

「後期は今まで先取点を取られる展開だったので、先に点を取れたのは良かった」と秋田浩一監督は試合を振り返る。後期に入ってからは先制されることが多かったが、先に点を取れたことが心理的優位につながったのかもしれない。

17節の相手は早稲田大学。いわずと知れた名門校だが、今季はここまで9位と奮っていない。J2・F



↑駒大を後方から支えるDF金正也主将。早大戦でも相手の攻撃を跳ね返し、勝利に貢献したい。

C岐阜への入団が内定しているDF野田明弘やU-21代表に選ばれたFW富山貴光ら豊富なタレントを擁しながらこの成績では、当然満足できないだろう。インカレ圏内に滑り込むことを考えると、是が非でも勝ち点3を積み上げたいはず。強い姿勢で臨んでくることは間違いない。

特に要注意なのはFW白井豪だ。13節の中央大学戦でデビューを果たすと、前節・神奈川大学戦ではリーグ初ゴール。今、早大の中で一番危険なストライカーといえるだろう。ここまでは途中出場が多く、スパーサブ的な役割を担っている。流れを変える力は十分持っているだけに、彼が現れた時はしつかり

対応する必要がある。

### 狙うは勝ち点3のみ

これに対し駒大は、「駒大サッカー」を徹底し、自分たちのサッカーを貫きたい。「失点しないということ、粘り強くするということを意識して戦った」という林堂の言葉通り、前節の完封勝利は粘り強くディフェンスすることから生まれた。今節も前線からハイプレッシャーをかけ、粘り強く守りた

ってリズムを作っていきたい。怪我から復帰を果たし、最終ラインを守っている亀井やG大阪への来季加入が内定している主将の金を中心とした鉄壁の守備で、早大の攻撃をシャットアウトしたいところだ。攻撃面では、来季の川崎F入りが内定したエース棗に注目したい。後期はここまで1得点に留ま



↑エースとして君臨するFW棗佑喜。献身的な守備やポストプレーが光るが、得点も期待したい。

っているが、確実にポストワークをこなし、前線からのプレスを遂行。あとは得点という結果を残すだけ。今節の爆発に期待がかかる。また、前節途中出場の湯澤にも注目したい。流経大戦では、得意の高速ドリブルで相手守備を翻弄し、2-0の勝利に貢献。守備でも体を張るなど、印象的な活躍を見せていただけに、早大戦でもハイレベルなパフォーマンスに期待したい。

「明治大学も勝っているので自分達も勝つしかない。最後まで諦めないで勝ちたい」と金主将は意気込む。首位との勝ち点差は10まで開き、逆転優勝は難しい状況にある。それでも、その可能性が完全に消えたわけではない。「メイクミラクル」を目指し、勝ち点を積み上げられるか。駒大らしさを前面に押し出し、勝利をもぎ取りたい。